

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般入学試験問題  
【専門科目】 【国語教育専攻】

解答上の注意

- 一. 国語教育専攻の入学試験問題は、「専門科目・選択」（配点60％）と「専門科目・共通」（配点40％）とに分かれています。
- ① 「専門科目・選択」は、出願時に届け出た研究指導・指導教員の専門分野により、左記の表の「解答すべき問題」（選択一～選択七）を解答しなさい。なお、「解答すべき問題」以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。

志願票に記入した 研究指導名	志願票に記入した 指導希望教員名	「専門科目・選択」で 解答すべき問題
国語科教育研究指導	幸田 国広	選択一 国語教育
国語科教育研究指導	菊野 雅之	
日本語学研究指導	松本 正恵	選択二 日本語学（日本語教育を含む）
国文学研究指導	松本 直樹	選択三 古典文学 I 上代文学
国文学研究指導	新美 哲彦	選択四 古典文学 II 中古文学
国文学研究指導	福家 俊幸	選択五 古典文学 III 中世文学
国文学研究指導	田淵 句美子	選択六 中国古典文学
国文学研究指導	内山 精也	
国文学研究指導	石原 千秋	
国文学研究指導	金井 景子	選択七 近代文学
国文学研究指導	五味 淵 典嗣	
国文学研究指導	和田 敦彦	

② 「専門科目・共通」（共通一～共通二）は、志願者全員が解答する問題です。

- 一. 「専門科目・選択」「専門科目・共通」とともに、解答用紙は「問題番号」ごとに一枚ずつ使用すること。
- ・ 全ての解答用紙の所定欄に、受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
- ・ 「専門科目・選択」については、空欄に「問題番号」（例「選択一」「選択二」など）を必ず記入する  
こと。
- ・ 「専門科目・共通」については、「共通一」「共通二」それぞれ所定の解答用紙を用いること。
- 三. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
- 四. 問題用紙は「十枚」（本ページ含む）、解答用紙は「三枚」です。必ず枚数を確認すること。

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般・外国学生入学試験問題  
【専門科目・選択】 【国語教育専攻】

〔 選択一 〕 国語教育

※解答に際しては選択した問題番号を明記すること。

一、次のA～Hのうちから三題を選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| A キー・コンピテンシー | B 知徳ノ啓発          |
| C 「みんないいこ」読本 | D 探究的な学習のプロセス    |
| E 筆者想定法      | F 一読総合法          |
| G 調べる綴方      | H 「情報の扱い方」に関する事項 |

二、次のI～Nのうちから二題を選び、具体的に論じなさい。

- |                             |
|-----------------------------|
| I 一九〇〇年「国語科」成立の背景とねらい       |
| J PISA読解力調査のねらいと特徴          |
| K 時枝誠記の古典教育論の特徴             |
| L 高校共通必修科目「現代の国語」と「言語文化」の性格 |
| M 随意選題論争における友納友次郎の綴方教育観     |
| N 「言葉による見方・考え方」とは何か         |

三、児童・生徒の「不読率」に関する近年の傾向をふまえて、あなたは国語科における読書指導の在り方をどう考えるか。近年の特徴的な読書指導の方法等に触れながら、対象とする学校種を明確にした上であなたの考えを述べなさい。

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般・外国学生入学試験問題  
〔専門科目・選択〕 〔国語教育専攻〕

〔選択二〕 日本語学

一 次のA～Lの事項のうちから四題を選び、説明しなさい。(解答の際には、選択した問題番号を明記すること。)

- |   |      |   |      |   |           |
|---|------|---|------|---|-----------|
| A | 一語文  | B | 連濁   | C | アーミー・メソッド |
| D | ヲコト点 | E | 女房詞  | F | 『分類語彙表』   |
| G | とりたて | H | あいづち | I | 和漢混淆文     |
| J | 橋本進吉 | K | 方言区画 | L | 社会言語学     |

二 次のM～Oのうちから一題を選び、具体的に論じなさい。(解答の際には、選択した問題番号を明記すること。)

- M 仮名遣いの歴史と「現代仮名遣い」の問題点について  
N 現代日本語接続表現(接続詞・接続助詞・複合的接続表現等を含む)の体系と機能について  
O 日本語研究・日本語教育における談話分析研究の有用性について

三 日本語学とはどのような学問か。専門外の人にもわかりやすいように、具体例を交えながら、学問領域・研究対象・研究方法・研究の意義・研究の応用可能性等について多角的に述べなさい。

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般・外国学生入学試験問題  
【専門科目・選択】 【国語教育専攻】

〔選択三〕 古典文学 (I) 上代文学問題

一、次の (A) ～ (D) のうちから、二題を選択して論述しなさい。解答の際には、選択した問題番号を明記すること。

- (A) 『古事記』中巻の構成
- (B) 『日本書紀』神代巻の「一書曰」
- (C) 「風土記」の編纂事業
- (D) 初期万葉歌の特徴

二、次の (E) ～ (K) のうちから、三題を選択して簡潔に（一題あたり解答用紙五行以内）説明しなさい。解答の際には、選択した問題番号を明記すること。

- (E) 雄略天皇
- (F) 洪水神話
- (G) 高橋虫麻呂
- (H) 国見歌
- (I) 七夕歌
- (J) 風土記逸文
- (K) 延喜式祝詞

三、上代文学作品の享受史を踏まえ、古典文学を学ぶことの意義について、具体的かつ簡潔に（解答用紙一〇行以内）考えを述べなさい。

（上代文学問題 以上）

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般・外国学生入学試験問題  
【専門科目・選択】 【国語教育専攻】

〔選択 四〕 古典文学(Ⅱ) 中古文学

※解答に際しては選択した問題番号を明記すること。

一、次の(A)～(D)のうち、二題を選択して論述せよ。

- (A) 『伊勢物語』と古注釈
- (B) 『紫式部日記』の特質
- (C) 『源氏物語』と漢詩文
- (D) 『源氏物語』の享受

二、次の(E)～(M)のうち三題を選択して、簡潔に説明せよ。

- (E) 『うつほ物語』
- (F) 『後撰和歌集』
- (G) 『落窪物語』
- (H) 『大和物語』
- (I) 『和泉式部日記』
- (J) 『蜻蛉日記』
- (K) 藤原定子
- (L) 草子地
- (M) 平安時代の文学における召人

三、中古文学を学校教育で学ぶ意義とは何か、あなたの考えを述べよ。

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

〔選択五〕 古典文学 (Ⅲ) 中世文学

一、次の①～⑧の中から二題を選択して、詳しく論述しなさい。

- ① 鎌倉前期の政治と文学について
- ② 中世の都と地方の文学について
- ③ 題詠歌と本意について
- ④ 『平家物語』の成立について
- ⑤ 教訓書の文学史的展開について
- ⑥ 古今伝授について
- ⑦ 天皇家と勅撰和歌集について
- ⑧ 古筆切研究について

二、次の①～⑩の中から三題を選択して、簡潔に説明しなさい。

- ① 百人秀歌
- ② 愚管抄
- ③ たまきはる
- ④ 無名抄
- ⑤ 神道集
- ⑥ 後鳥羽院御口伝
- ⑦ 保元物語
- ⑧ 沙石集
- ⑨ 増鏡
- ⑩ 野守鏡

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科  
修士課程 一般・外国学生入学試験問題  
【専門科目・選択】 【国語教育専攻】

〔選択六〕 中国古典文学 問題

〔一〕 次の文は宋・歐陽脩「醉翁亭記」の一節である。この文を読んで、設問に答えなさい。

環滁皆山也。其西南諸峰、林壑尤美。望之蔚然而深秀者、琅琊也。山行六七里、漸聞水聲潺潺、而瀉出於兩峰之間者、釀泉也。峰回路轉有亭、翼然臨于泉上者、醉翁亭也。作亭者誰、山之僧智僊也。名之者誰、太守自謂也。太守與客來飲于此、飲少輒醉、而年又最高、故自號曰醉翁也。醉翁之意、不在酒、在乎山水之間也。山水之樂、得之心、而寓之酒也。……中略……已而夕陽在山、人影散亂、太守歸、而賓客從也。樹林陰翳、鳴聲上下、遊人去、而禽鳥樂也。然而禽鳥知山林之樂、而不知人之樂。人知從太守遊而樂、而不知太守之樂其樂也。醉能同其樂、醒能述以文者、太守也。太守謂誰、廬陵歐陽脩也。

〔設問一〕 傍線①「太守……酒也」を、口語訳しなさい。

〔設問二〕 傍線②「人知……守也」について、(A)・(B)二つの問いに答えなさい。

(A) すべて平仮名による書き下し文、または現代中国語の発音記号(拼音)表記に改めよ。

(B) 口語訳しなさい。

〔設問三〕 作者歐陽脩の文学史的功績について簡潔に説明しなさい。

〔二〕 次のア～オの中から一つを選択し、その記号を解答欄に記した上で、説明ならびにあなたの考えを記しなさい。

ア 「文言」と「白話」の文体的相違について

イ 「詩言志」について

ウ 科挙と詩について

エ 「漢文」が「国語」に含まれる理由について

オ 日本漢詩文がもつ国語教材としての意味について

〔三〕 次の(A)～(J)の中から三つの項目を選び、それぞれの文学史ないしは文化史的意味を中心に説明しなさい。

(A) 「離騷」

(B) 『文選』

(C) 漢賦

(D) 閨怨詩

(E) 『搜神記』

(F) 韓愈

(G) 蘇軾

(H) 『康熙字典』

(I) 「鶯鶯伝」

(J) 胡適『白話文学史』

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

「専門科目・選択」 【国語教育専攻】

「選択七」近代文学

一 日本の近代文学の始まりについて、あなたの考えるところを述べなさい。

二次の(A)～(E)の中から一題を選択して論じなさい。

- (A) 新体詩について
- (B) 新感覚派の文学について
- (C) 日本浪漫派について
- (D) 私小説について
- (E) 日本近代文学とメディア研究について

三次の(A)～(G)の中から三題を選択して説明しなさい。

(「」は作品名、『』は雑誌名を示す)

- (A) 樋口一葉 (B) 「別れたる妻に送る手紙」 (C) 『三田文学』
- (D) 有島武郎 (E) 「蟹工船」 (F) 「新青年」
- (G) 「街とその不確かな壁」

# 二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科

## 修士課程 一般入学試験問題

### 「専門科目・共通」 【国語教育専攻】

#### 【共通一】

次の文章は若林幹夫『社会学入門 一步前』（河出書房新社、二〇二三年）の一節です。これを読んで、「わかる」ということについてあなたの考えを書きなさい。

科学とは何だろうか？ それは、単に確実な知識のことではない。仮説と検証によって確かめられた法則性によって世界を理解することが、科学という知の特徴である。古典力学も、相対性理論も、進化論も、遺伝子理論も、物の運動や生物の多様性、形質の遺伝などの観察可能な事実や出来事を説明するために、論理整合的に——ようするに「筋道立てて」——作られた仮説、つまり「仮の説明」である。こうした仮説は、それらと合致する事実があり、そしてそれらを否定する事実が見出されないかぎりで、「さしあたり真なる理論」として認められる。科学的な「理論」はこうした実証性——それを支持する事実があること——と反証可能性——その真偽が実験や観察によって証明されること——をもたなくてはならないとされる。こうした手続きによって科学、とりわけ自然科学は「確実な知識」としての明証性をもつものとされるのだ。

だがしかし、そうであるとするれば、ようするに科学とは「すべてを知ることができる知」なのでなく、「実証的な手続きによって知りうるものだけを知る」ような知なのだということになる。科学的な知は、実証的な手続きによって真であることとあえず認められる仮説以外は、「（まだ）わからない」として判断を保留しなくてはならない。そしてまた、どんな理論も「仮説」である以上、つねに「とりあえず」で「今のところ」のものにすぎず、それに反する事実によっていつ否定されないとかがざらない。科学的な知は「究極の真理」などけっして指し示さない。それが提示するのは、いつ否定されてもかまわない「さしあたりの真理」なのだ。

地球上のさまざまな海域や陸地の科学的な調査や測量が行なわれる以前の、古代や中世に描かれた多くの世界図には、その地図を描いた人びとがいまだ行ったことのない「未知の大陸」や「楽園」がしばしば描かれ、魔人や怪物たちが描き込まれることもあった。未踏の地は空白しておく近代の科学的な地図とは異なり、中世以前に作られた世界図を貫く原則は、「知らない場所は、信仰や宇宙観にもとづく信念によって描く」というものだ。未知の大陸を人は経験的事実としては知らないけれど、信仰や宇宙観にもとづく信念としては「知っている」というわけだ。世界に対する神話的、宗教的、呪術的思考は、実証的に知りえないものについても、信仰や宇宙観によって「知り」、「理解する」。そこでは、科学的な知においては「知りえないもの」として沈黙しなくてはならない領域が、信念と想像力によって「知りうるもの」となり、描かれうるものとなるのである。

だから、科学に対する私たちの常識的な理解にはいささか反するかもしれないが、科学的な知は、宗教や神話や魔術や呪術よりも「無知」なのだ。逆に言うと、科学的な知の立場からすれば「わからなさ」を受け入れねばならないときにも、宗教や神話や魔術や呪術は非科学的な仕方で「わかっつまり」のである。

修士課程 一般入学試験問題

【専門科目・共通】 【国語教育専攻】

【共通二】

次の文章は『今物語』の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。

下毛野武正といひける随身の、関白殿の北の対の後ろを、まことに①ゆゆしげにて通りけるに、つばねの雑仕、「あなゆゆし。鳩吹く秋とこそ思ひ  
 「ついふされ」と言ひてけり。女心うげにて隠れにけり。  
 随身所にて、秦兼弘といふ随身に会ひて、「北の対の女の童部に、さんざんに③のられたりつる」と言ひければ、「いかやうにのられつるぞ」と問はれて、「鳩吹く秋とこそ思へ」と言ふに、兼弘は、兼方が孫にて兼久が子なりければ、④かやうの事、心得たるものにて、「⑤口惜しき事のためひけるかな。⑥府生殿を思ひかけて、言ひけるにこそ。  
 み山出でて鳩吹く秋の夕暮ればしばしと人をいはぬばかりぞ  
 といふ歌の心なるべし。しばしとまり給へと言ひけるにこそ。無下に色なく、いかにのり給ひけるぞ」と言ひければ、「いでいで、さては色直してまゐらん」とて、ありつるつばねの下口に行きて、「⑦物うけたまはらん。武正、鳩吹く秋ぞ、ようよう」と言ひたてりける、いとをかしかりけり。

- 問一 傍線部①「ゆゆしげに」のこの場面での意味を答えよ。
- 問二 空欄②にふさわしい語を「まゐらす」を適切に活用させて答えよ。
- 問三 傍線部③「のられたりつる」の解釈として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。
  - イ 口説かれてしまった
  - ロ 悪口を言われてしまった
  - ハ 褒められてしまった
  - ニ 上に乗られてしまった
  - ホ 隠れられてしまった
- 問四 傍線部④「かやうの事」の内容を具体的に説明せよ。
- 問五 傍線部⑤「口惜しき事のためひけるかな」を主語を明らかにした上で現代語訳せよ。
- 問六 傍線部⑥「府生殿」は誰を指すか。文中から名前を抜け。
- 問七 傍線部⑦「物うけたまはらん」を「物」を明確にした上で現代語訳せよ。
- 問八 この文章の出典である『今物語』と同時代、同ジャンルの作品を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
  - イ 今鏡
  - ロ 平家物語
  - ハ 宇治拾遺物語
  - ニ 徒然草
  - ホ 堤中納言物語





研究指導

教員名 ( )

受験番号

氏名

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験 解答用紙

【専門科目】 【国語教育専攻】

大学記入欄

問題番号

共通一

↑ 裏面を使用する場合に「」から記入すること

↑

↑ 111#6R

↑

研究指導

教員名 ( )

受験番号

氏名

二〇二四年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験 解答用紙

【専門科目】 【国語教育専攻】

大学記入欄

問題番号

共通二

↑

裏面へ続

↑

↑ 裏面を使用する場合ロジックから記入すること

↑

↑ 111111 ↓

↑